

令和 5 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立尾西第一中学校	学校 No.	66
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 福祉にかかわるさまざまな活動の中で、施設利用者やその運営に携わる方々との交流やボランティア活動を通し、共に歩むことの心構えや自分にできることを考える力を身につける。 ・ 計画 ボランティア活動、福祉実践教室などを行う。 ・ 推進体制 有志参加者を募り、各計画を推進する。 <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア福祉体験学習 8 / 21、22、23、24 社会福祉施設でのボランティア活動 アルメゾンみづほ、榎の木園、榎の木作業所、泰玄会老人保健施設の4施設へ、10名の生徒が参加した。 ・ 赤い羽根共同募金「街頭募金活動への参加 10 / 1 DCM尾西店にて、5名の生徒が募金活動に参加した。 ・ 福祉実践教室 12 / 8 1年生生徒を対象に、車椅子・点字・手話・視覚障がい者ガイドヘルプ ・ 高齢者疑似体験・要約筆記・認知症理解の体験活動を行った。 <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動を通し、障がいのある方々や施設の方々と交流することで、それぞれの方々が生きがいをもって生活している姿を見ることができた。 ・ 福祉実践教室での体験を通して、相手のことを考え、自分たちにできることを考え、主体的に行動していこうとする心を育むことができた。 ・ 今後も意欲的により多くの生徒が活動に参加できるよう、福祉活動への参加への継続を促していきたい。 			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和 5 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立尾西第二中学校	学校No.	67
-------	-------------	-------	----

1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

(1) 目 標

ア 社会には様々な立場の人がいることを知り、その生き方を学ぶことで生きるための目標をもち、心豊かな生活を送ることができるようにする。

イ 募金活動に積極的に取り組ませることで、社会のため自分ができることに気付かせる。

(2) 計 画

ア 福祉実践教室を通して、ユニバーサルデザインの視点を学び、誰もが過ごしやすい社会をつくるためにできることを見つけられるようにする。

イ ボランティア委員会を中心に校内・校外で募金活動に積極的に取り組む。

2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

- (1) 福祉実践教室…………… 6月27日（火）
- (2) 赤い羽根の募金（校内）…………… 11月21日（火）～11月24日（金）
- (3) かしの木フェスティバルボランティア………… 11月25日（土）
- (4) 能登半島地震災害募金（校内）…………… 1月29日（月）～ 1月31日（水）
- (5) アルミ缶・エコキャップ回収活動……………通年

3 福祉教育の成果と今後の課題

- ・福祉実践教室を通して、様々な人との共生社会の実現に向けて、自分のできることを発見したり、確かめたりすることができた。この福祉実践教室で培ったものが、かしの木フェスティバルのボランティアで役に立ったとの話があった。
- ・各種のボランティア・募金活動を通して、「共に生きる」という気持ちを高めることができた。また、自分にできることを考えるよい機会となった。
- ・委員会活動や特定の学年での実践を行った。継続的に実践できるように、生徒の実態に合わせた福祉教育に取り組んでいきたい。



令和5年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立尾西第三中学校	学校No.	68
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>昨年度まではコロナ禍のため例年のように校外での活動は難しかったが、本年度は少しずつ校外での活動も開催できるようになってきたので、昨年度の目標の「身近かな生活で周りに対する社会貢献」は引き続き掲げながら「地域の中でボランティア活動や募金活動などで貢献しよう」ということで取り組むことにした。</p> <p>生徒会や福祉委員会、生活委員会、ボランティアの生徒を中心に、次のようなねらいで計画し、実践した。</p> <p>○行事や授業での取り組みを通して、福祉に関する理解を深めさせる。</p> <p>○家庭や、学級や、学校等で自分から人の喜ぶことを行い、それを通して、福祉に対する意識向上を図る。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>4月 前年度からの係の引継ぎ、および年間の活動報告を作成した。</p> <p>5月 開明連区体育祭ボランティアに参加 24名</p> <p>6月 生徒会主催で美化委員の協力でアルミ缶回収活動を行う。（3日間） 福祉委員があいさつ運動もかねて行いユニセフ募金への協力（3日間） 各リーダー会主催であいさつ運動を行う。（3日間） 2年リーダー会主催であいさつ運動を行う。（修学旅行中の3日間） 福祉実践活動を1年生が車いす体験・手話・点字・認知症理解に分かれて体験をする。</p> <p>8月 おもちゃ図書館「なかよし」ボランティアに参加 2名 青少年等ボランティア体験学習に参加 ・医療法人泰玄会老人保健施設 ボランティアに参加 2名 ・特別養護老人ホームアルメゾンみずほ ボランティアに参加 2名 ・樫の木作業所 ボランティアに参加 3名</p> <p>10月 「赤い羽根街頭募金」のボランティアに参加 5名</p> <p>11月 各リーダー会主催であいさつ運動を行う。（3日間） 小中連携でのあいさつ運動をする。 小信中島小学校と開明小学校に生徒会執行部と教師2名が出向き行う。 生徒会主催で美化委員の協力でアルミ缶回収活動を行う。（3日間） 福祉委員があいさつ運動もかねて行い赤い羽根募金への協力（3日間）</p> <p>12月 「年の瀬ウオーキング」ボランティアに参加 22名 福祉委員会の呼びかけで全校生徒で「一日一善」に取り組む（1週間）</p> <p>1月 1年生のキャリア教育の一環の「プロフェッショナルへの道」という行事で、福祉・看護の分野の話聞く。</p> <p>通年 3年生の有志があいさつ運動を行う。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>本年度はコロナ禍ではあるものの少しずつボランティア募集が増えてきて、参加者は積極的に参加できてよかった。今年度初めて「年の瀬ウオーキング」のボランティアに参加した生徒のお礼の掲示物を小信中島公民館に届けることができた。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和 5 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立木曾川中学校	学校 No.	69
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校では、「思考・実行・協力」（三考）の校訓のもと、ボランティア活動を位置づけ、福祉教育を計画的に進めている。社会福祉に関する実践的な学習の機会を通して、福祉への理解と関心を高め、ともに生きる姿勢を育てるとともに実践力の向上を図り、豊かな心の育成に取り組んでいる。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>（1）社会福祉活動に対する関心を深め、意識を高める活動</p> <p>① 福祉実践教室</p> <p>1年生全員が、手話・点字・要約筆記・車いす体験・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験・認知症理解・発達障害理解のいずれかの活動を行った。講師の方の説明を聞き、真剣な眼差しで体験活動に取り組む姿が多くみられた。体験活動後にはレポートを作成し、保護者会の時期に掲示することで、福祉に対する関心を高めた。</p> <p>② 福祉に関するレポート作成</p> <p>①に記述した通り、福祉実践教室での体験を踏まえ、1年生の総合的な学習の時間の中で、福祉に関するレポートを作成した。「生活の中のやさしさ」を探すというテーマで、身の回りのバリアフリーや工夫されていることについて調べ、福祉実践教室で学んだことや感想をまとめて、保護者会の時期に掲示した。</p> <p>③ 人権週間の取り組み</p> <p>全国的な人権週間に合わせて、本校でも「人権週間」を設け、人権について考えた。人権に関する作文の朗読を生徒会によって行い、感想を書くことで、人権に対する関心を高めた。</p> <p>（2）地域との連携を図る活動</p> <p>青少年ボランティア福祉体験学習事業、保育園訪問（2年生）、職場体験学習（2年生）、その他自主的なボランティア活動を例年行っているが、今年度は夏休み福祉体験学習、一豊まつり、いちのみやボランティアフェスティバルへの参加となった。</p> <p>3. 福祉 教育の成果と今後の課題</p> <p>主に福祉実践教室やレポート作成を通して、バリアフリーやユニバーサルデザインなど、生徒たちの福祉に対する関心を高め、視野を広げることができた。また、地域の行事にボランティアとして参加したいという意欲を示す生徒は増えており、今年度行ったボランティア活動においても、多くの生徒の参加希望があったため、来年度ボランティアの募集があれば多くの生徒の参加が期待できる。</p> <p>今後も活動の機会を多く設定し、学校生活や地域に根差した日常的なボランティア活動への取り組みを継続していきたい。</p>			

様式 4

令和 5 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名 愛知真和学園 大成中学校

1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

本校の教育理念でもある「報恩感謝」を様々な福祉活動を通じて体得することを目標にしています。

また在学中だけでなく卒業後の今後の人生においてもいろいろな場面で役立ててほしいと考えています。

2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

- ・ 東日本大震災復興支援活動
「福島ひまわり里親プロジェクト」参加
- ・ エコキャップ回収運動（文化祭で集計結果発表）
- ・ レモネードスタンド活動（文化祭内）
- ・ 赤い羽根募金活動参加
- ・ 子ども食堂 参加
- ・ 校外周辺清掃活動
- ・ 校内美化運動

3 福祉教育の成果と今後の課題

成果

様々な社会活動を通じて生徒の意識向上・心構えに好影響を与えている
また「東日本震災復興支援」・「エコキャップ回収活動」等は複数年間にわたり行い、学校の伝統として認知されつつある。

また子ども食堂への参加・レモネードスタンド活動をはじめなど新しい活動も始めることができた。

今後の課題

生徒主体の自主的な活動として定着した一方で今後も新しい企画を検討するなど形骸的なものとならないよう注意深く見守りたい。